

新宿区建築物等耐震化支援事業 書類作成時の留意点

令和 8 年度

接道条件等の表記例①

■ 法42条2項道路で未協議の場合

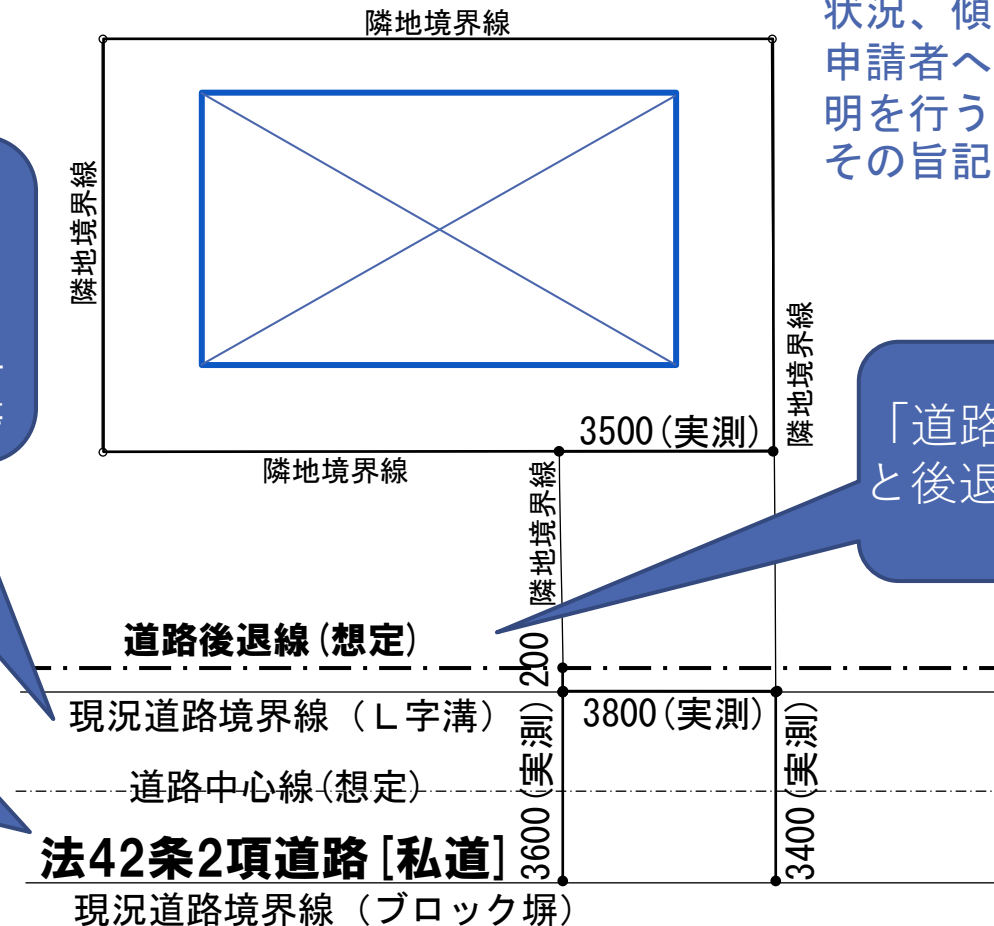
※隣地境界が確定していない場合も同様

道路沿いにブロック塀等がある場合は、劣化状況、傾き等を調査し、申請者へ助成制度の説明を行う。報告書にもその旨記載する。

現況道路境界線と判断した地物等の根拠を記載

例：ブロック塀、権利者からのヒアリング等

道路種別を表記

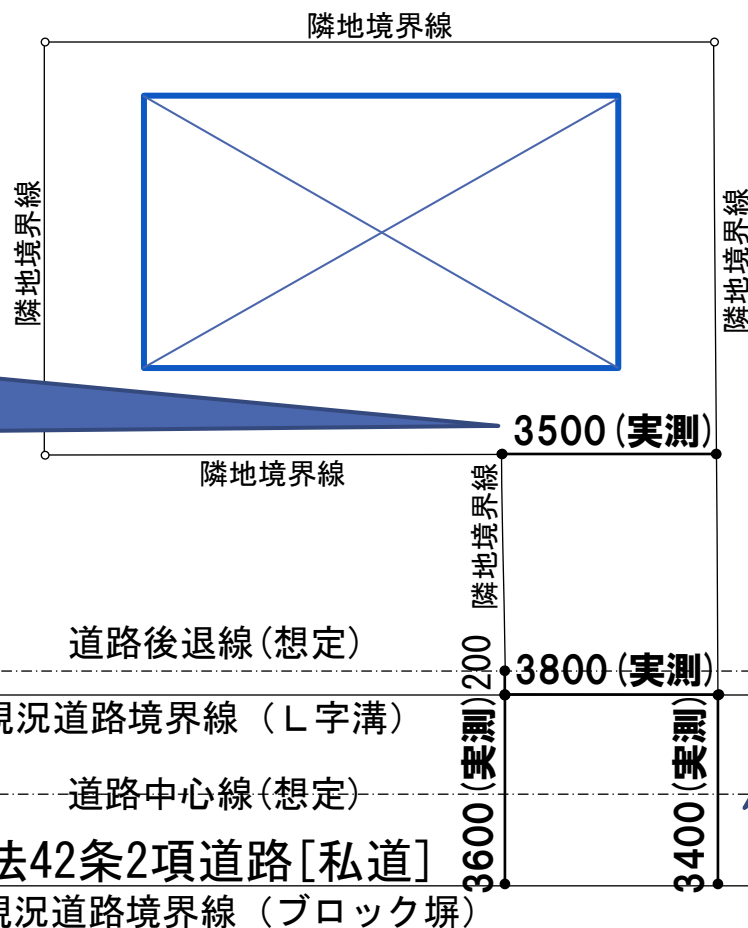


「道路後退線(想定)」と後退距離寸法を表記

接道条件等の表記例②

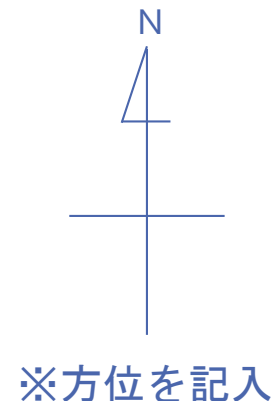
■ 法42条2項道路で未協議の場合

※隣地境界が確定していない場合も同様



実測値であることが
わかるよう「実測」
の表記

* 隣地境界等が確定してい
ない場合、どこから測った実
測値か地物等を明記

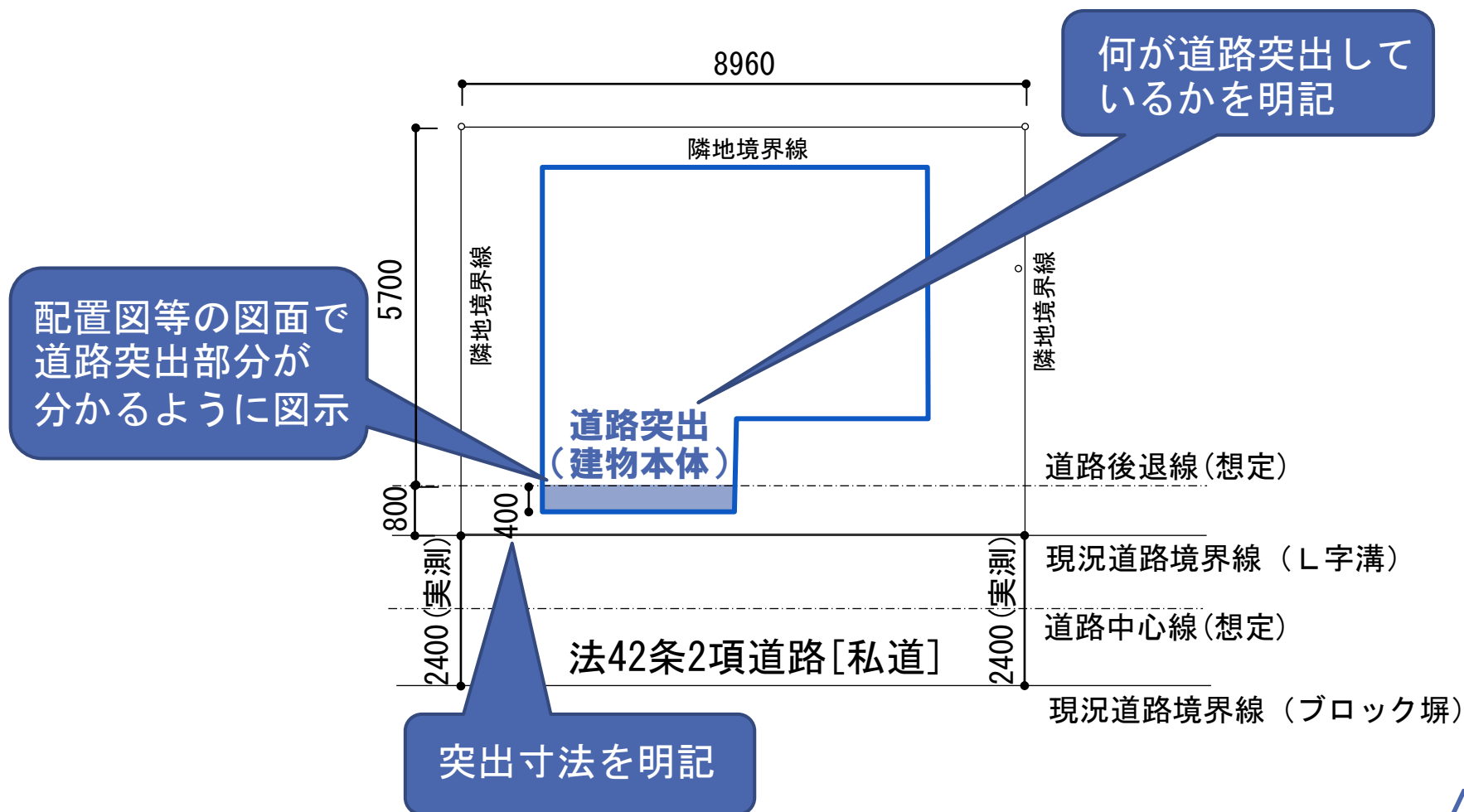


※方位を記入

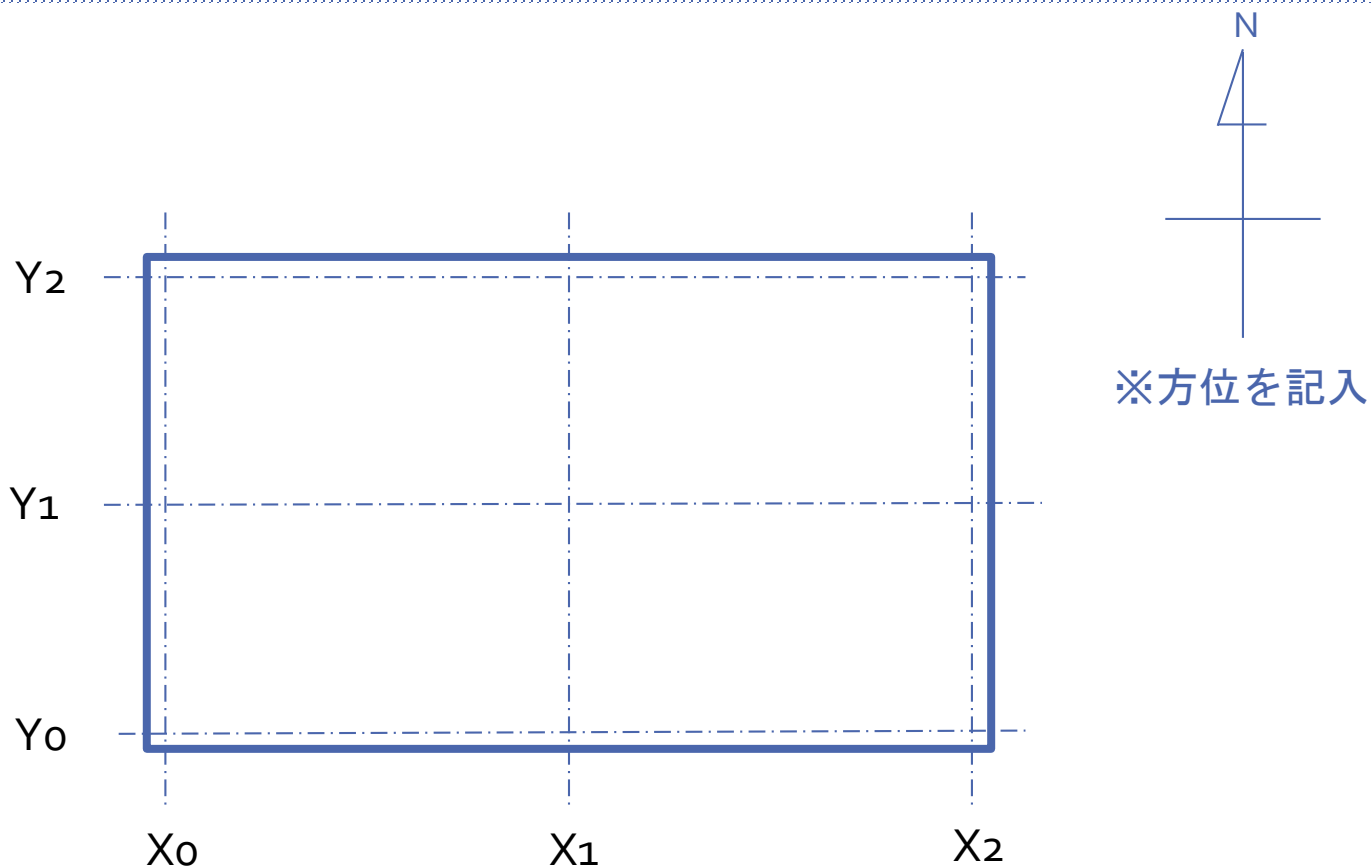
敷地端部の
道路幅員を表記

接道条件等の表記例③

道路突出の場合



平面図の表記例



通り芯記号を記入

面積表の作成例

計算式で使用している
数値は、求積図にも表記
(対象箇所がわかるよう
にするため)

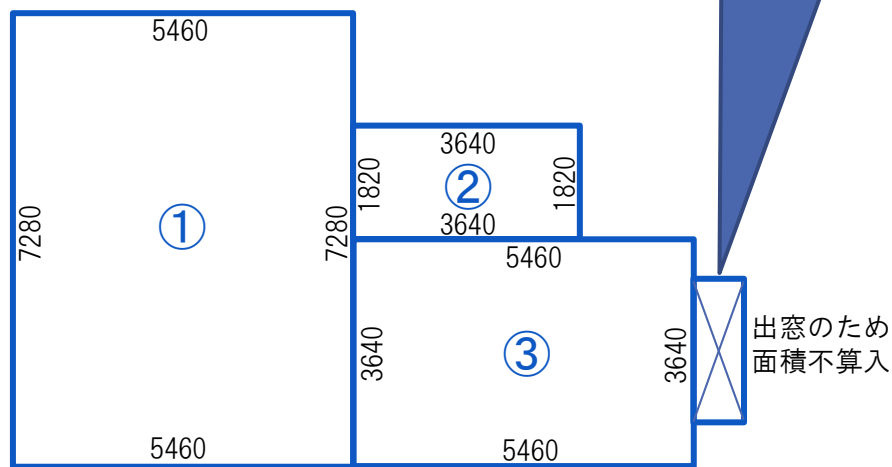
電卓で内容確認が
できるように表記

面積不算入がある
場合は、
求積図に該当箇所・理由を図示

番号	計算式	面積 m ²
①	5.46 × 7.28	39.7488
②	3.64 × 1.82	6.6248
③	5.46 × 3.64	19.8744
1 階合計		66.2480
④	5.46 × 7.28	39.7488
⑤	3.64 × 1.82	6.6248
⑥	5.46 × 3.64	19.8744
2 階合計		66.2480
合計		132.4960

延べ床面積 132.49m²

延べ面積の小数第三位
を切り捨て



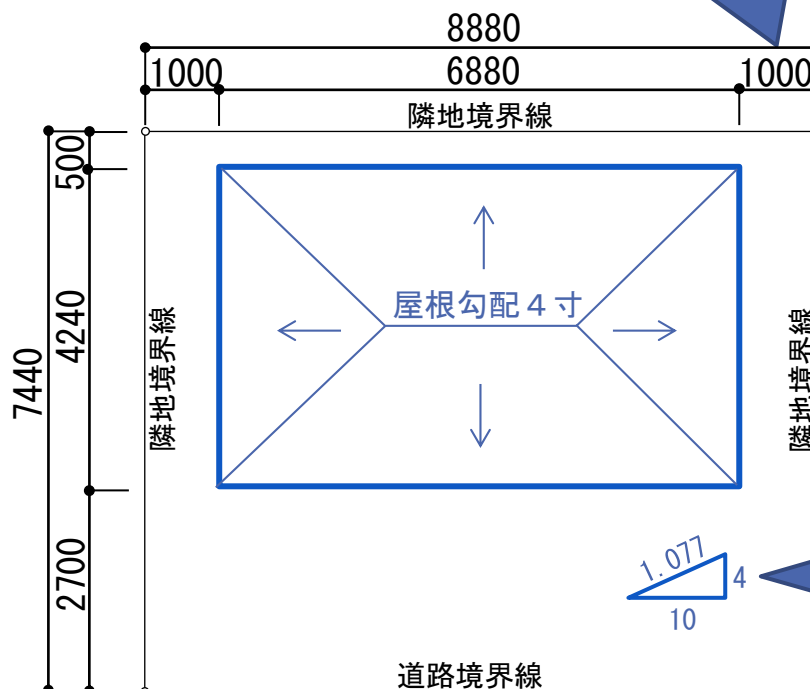
屋根工事・基礎工事を行う場合の表記例

$$6.88 \times 4.24 \times 1.077 = 31.417$$

屋根面積 31.41㎡

電卓で内容確認ができるように表記

軒先等から各敷地境界線までの寸法を表記



勾配・勾配係数を表記

- * 足場を組む場合は、数量(面積等)の根拠となる資料(計算式・平面図等)を添付
- * 基礎工事の場合は、数量(長さ等)の根拠となる資料(計算式・平面図等)を添付